

はじめ通信

HAJIME TSUSHIN

佐々木 紀 後援会機関紙 Vol. 10



衆議院予算委員会で佐々木紀委員の質問に答える菅義偉内閣総理大臣 (2021/2/8)



2021 2/8

予算委員会で初質問

コロナ禍の確固たる経済対策を主張！

第204回通常国会が終了したあと、大きな困難に立ち向かって開催された東京オリンピック・パラリンピックが多くの感動とともに成功を収め閉幕しました。いよいよ秋の総選挙が迫ってきます。

先の国会では、衆議院予算委員会で全大臣出席のもと、質問の機会をいただきました。これまで様々な分科会で数多く質問を重ねてきましたが、予算委員会で質問するのは初めてのことでした。46分の持ち時間の中心にコロナ禍における施策をとりあげ、とりわけ地方への対策が立ち遅れないように強く要望しました。

予測のできない困難に見舞われ、政府も地方自治体も懸命に努力を重ねてはいるものの、長引く異常事態

【予算委員会での質問項目】

- 全国の中小事業者への支援策について
- 答弁：西村経済再生担当大臣、梶山経済産業大臣
- 緊急事態宣言解除後の経済対策
- 答弁：赤羽国土交通大臣
- マスクの品質基準について
- 答弁：田村厚生労働大臣
- 整備新幹線の建設促進について
- 答弁：菅総理大臣、赤羽国土交通大臣
- エッセンシャルワーカーへの支援
- 答弁：浅沼政府参事、厚生労働省
- ウィルス検査キットの普及について
- 答弁：田村厚生労働大臣、梶山経済産業大臣

に国民のいらだちと不満も大きくなっています。世界中が苦しむ厳しい闘いに、マスクや手洗い、密を避ける…といった基本的な感染予防対策をお願いしながら、現時点での唯一の切り札といえるワクチン接種の実施率を高めようとして取り組んでいます。その上で国が国民の生活をどのように支えていくかが喫緊の政治課題になります。

同時にこの緊迫した状況にも外交などの国際情勢から目を離さず、国内の経済安定をめざす姿勢を貫くなど政治本来の問題に空白を作らないことが大切です。

一日も早く、平穏な日常に戻れることを祈りつつ、コロナ対策を筆頭に数々の重要課題に対して全力を尽くしてまいります。

佐々木代議士に聞く

法案はどのように成立するのか

国会対策委員会の舞台裏

第203回国会から、佐々木代議士は国会対策委員会の副委員長という重責を担いました。国会運営のカギを握ると言われるこの役職の役割はどんなものか、ふだんのニュースでは知ることのない国会の動きを尋ねます。

Q1 国会対策委員会(国対)とは何をすることか?

国会(本会議や委員会)の日程や内容について、与野党ならびに政府間の調整を行います。自民党国会対策委員会には委員長1名、委員長代理1名、副委員長15名が所属し、それぞれが細かく役割を与えられています。国会は国権の最高機関であり、総理といえども国会の進め方には直接関わることはできません。

Q2 副委員長の役割とはどんなものでしょうか。

私の今国会での役割は

- ① 参議院国対との連携を図ること
- ② 経済産業委員会の運営全般
- ③ 拉致問題特別委員会の運営全般

の3つでした。そのため国会開会中は毎日朝9時に開催される正副委員長の打合せ会と、参議院の国対会議にも出席しなければならなかったため、地元に戻る機会が極めて限られることが悩みの種でもありました。

Q3 国会対策でむずかしいところは?

日程を調整するにあたって様々な要素が絡んでくることです。政府関係者や与野議員の発言や週刊誌報道で日程が飛びことはしょっちゅうで、その都度修正協議をしなければなりません。また与野党の要求を押し付けるだけではダメで、野党側の要求も尊重しながら落としどころを探らなければなりません。先例主義の国会にあつて、後世に難しい前例を作らないためにも失敗は許されません。

Q4 今国会での苦勞と成果の一例を聞かせてください。

完全に苦勞しましたが、中でも今国会の経済産業委員会は多くの難題に直面しました。一度上程した貿易保険法の取り下げに始まり、柏崎刈羽原発の核物質防護体制の不備も法案成立の障害となりました。とりわけ重要法案であった産業競争力強化法に法案ミスを発覚した際には苦勞しました。リモート株主総会の実現や、繰越欠損金の特例措置等、コロナ禍に苦しむ日本経済に光を当てる改正内容が入っていたことから、時廃案へと傾きかけた流れを、懸命の根回しと根気強い調整を重ねた結果、会期末ギリギリに成立させることができたことは良かったと思います。

高い法案成立率を達成！ 第204回通常国会

法律案(法案)には、内閣が提出する法案(閣法)と議員が提出する法案(議員立法・議案)があります。

菅内閣初の通常国会となった今国会では閣法63本が提出され61本が成立、また22本の議員立法が成立しました。



経済産業大臣政務官 宗清 皇一氏

法案を救った情熱と手腕

国会では議案が上程されても与野党の協議が不調となり審議されないものや可決・成立に至らないものもあります。

今国会で提出された経済産業関係の重要な法案の中には、産業競争力強化法など国にとって極めて重要な法案の審議が様々な理由によって暗礁に乗り上げそうになりました。

その時、成立への道筋を立てたのが佐々木代議士副委員長。その情熱と高い手腕によってこれらの法案が成立したことに多くの関係者が深い感謝と敬意を表しています。

編集後記

長期間に渡るコロナ禍で、社会が暗く沈んだままの昨今、佐々木はじめ代議士にとっても、国会活動の環境が大変難しい状況の中におかれています。縦横無尽に飛び回ってきた本来の国政活動に一日も早く戻れることを願いつつ、何より皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。



期待が高まる
女性の活躍



▲ 女性局政策ミーティング (1/19)

女性の目線で 政治を活性化!

党女性局次長(政策部長)として、女性の活躍につながるさまざまな政治課題をテーマに研修会を完全オンラインで開催。政治の世界でも今後ますます活躍が期待される女性局員の皆さんが多数視聴され、大きな反響を呼びました。

未曾有の国難に全 力で立ち向かいます

国民の忍耐と努力に応えて

およそ1年間にわたる国土交通大臣政務官の職責を果たしたあと数多くの役職を拝命しましたが、政府や党の過密なスケジュールが続きますが、政府や党の重責を担える喜びと緊張感をもって飛び回る毎日です。最近の国政活動の一端をご報告します。



国を支える
農林水産業の発展



▲ 農林水産委員会 質疑 (4/14)

農業従事者の 支援を訴え

昨年10月より初めて農林水産委員会に所属。石川県が開発した「エアリーフローラ」を胸につけ、最初の一般質疑に臨みました。

子どもたちの
未来を守る



▲ Children Firstの子ども行政のあり方勉強会 萩生田文部科学大臣への申し入れ (4/7)

子ども庁 創設に向けて

子ども行政に関する相談窓口が複数の省庁に渡り複雑になっていることから一本化を図るために呼びかけ人として議員に働きかけ、先ごろの閣議決定で、いわゆる「骨太の方針」の中で「こども庁」を念頭におく行政組織の創設が示されました。

地方の時代に 即した対策を!

近年、議員の担い手不足が地方議会の課題の一つになっています。女性や若者の政治参画が進むように、時代に合わせた法整備と予算措置等の支援を求め続けます。

国づくりの基盤が
地方議会



▲ 総務部会 地方議会の課題に関するPT 武田総務大臣への申し入れ (4/13)

ふるさと議員の
初心を忘れず



▲ 河野ワクチン担当大臣 と石川2区首長との意見交換会 (4/6)

ワクチンが コロナ対策の「切り札」

ワクチンは重症化予防に効果がありますが、円滑に接種が進むよう自治体と国とのパイプ役を務めています。岡田副長官をはじめ、石川県選出自民党国会議員団でふるさと石川のためにできることをすべてやります。



▲ 石川県国会議員団会議 (6/9)

グローバルな
人材育成に



▲ 海外子女教育推進議員連盟 麻生財務大臣への申し入れ (6/15)

海外邦人の 活躍を支えて

海外の会社・支店で勤務する日系社員にとって子供たちの教育環境の充実が切実な問題です。国際的に活躍できる人材育成のためにも、海外の日本人学校の充実をめざして議員立法も視野に入れ、取り組んでいます。

世界から
信頼される国に



▲ 日本・ウズベキスタン友好議員連盟 議会間オンラインフォーラム (3/3)

一つ一つの絆が 大きな力に

ウズベキスタンは親日国で対中国政策を考える上で大切な国の一つです。台湾やベトナムなども含めコロナ禍にあっても、さらに絆を深めていきたいと、オンラインによる対話の機会を大切にしています。

新幹線開業遅延の 影響を最小限に

国土交通大臣政務官を退任し、しばらくして突然、北陸新幹線の開業遅延の発表を聞いたのは、まさに寝耳に水。各方面で不満が渦巻く中、周辺開発や地元負担の影響軽減対策を急ぐべきと訴え、国交大臣から「オール国交省で対応する」との明言を取りつけました。

確実に近づく
南加賀の新時代



▲ 北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会 (3/31)

未来を拓く スポーツ・文化の力

競技で頂点をめざす人たちに加え、健康のためにスポーツに取り組む人が増えています。スポーツが新たなビジネスを生むとともに、国民の健康寿命も延びることが期待されます。東京オリンピック・パラリンピックのレガシーとしても取り組んでいます。

スポーツが
国づくりに貢献



▲ スポーツ立国調査会・スポーツビジネス小委員会 加藤官房長官への申し入れ (5/27)